# （様式2） 実行計画管理シート

| 事業名 | 1 | 防災体制強化事業 | 部・課 | 市民安全部　危機管理室 |
|---|---|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| 総合計画との関係 | 基本目標等 | | 安全で、利便性の高いまち |
| | 施策目標等 | | 1　災害に対する備えができているまち |
| | （関連施策目標等） | | 2　災害時に、迅速・的確に対応できるまち |
| | （関連施策目標等） | | |
| | 4つの重点的に進める施策との関係 | | |
| 総合戦略との関係 | 基本目標 | | |
| | 施策目標 | | |
| 市長公約との関係 | | | ＜所信表明・市政運営方針での表現＞ |
| | 所信表明 | ○ | 市民生活に大きな被害を及ぼす大規模地震や集中豪雨などの自然災害が生じている中、喫緊の課題への対応として防災対策を一層推進する。 |
| | 2016(H28)年度市政運営方針 | | |
| | 2017(H29)年度市政運営方針 | | |
| | 2018(H30)年度市政運営方針 | | |

| | |
|---|---|
| 事業概要（目的・内容等） | 防災体制の強化を図るため、業務継続計画（BCP）に基づき、災害時の業務継続体制を確保する。また、自然災害の発生に備え、地域防災計画に基づき重要物資等の防災備蓄品を選定し管理を行う。 |

## 取り組み状況

| | | |
|---|---|---|
| これまでの取り組み状況 | | 東日本大震災による教訓を基に、平成26年には地域防災計画の改訂及び新たに業務継続計画（BCP）を策定すると共に、備蓄品の調査・研究を実施し近い将来に高い確立で発生する可能性がある南海トラフ巨大地震への備えを進めている。<br>また、平成27年度には、情報共有を行うことで市役所各部が横断的な対応が可能となるよう災害情報システムを導入し、初動体制の確立及び応急対応力の向上を図った。 |
| 2016(H28)年度の取り組み | 予定・目標 | ①地域防災計画、業務継続計画及び国民保護計画等を改訂し、体制の強化・確立を図る。<br>②大阪府が新たに設定した重要物資備蓄目標量を勘案した市の備蓄品充実を実施。<br>③災害情報システムの活用・習熟に努め、庁内の災害対応力向上を図る。 |
| | 実績（評価） | ①機構改革にともなう変更及び、上位計画（国、大阪府）との整合性を図り、地域防災計画の改定および国民保護計画の改訂を行ない、業務継続計画（BCP）については機構改革に伴う非常時優先業務について見直し改訂を行なった。<br>②賞味（消費）期限を迎える備蓄品がある事も踏まえ、備蓄計画の研究と一部刷新をおこなった。<br>③6月に災害対策本部事務局訓練、1月に災害対策本部訓練を実施した他、各部においても部内訓練を実施して習熟に努めた。 |
| 2017(H29)年度の取り組み | 予定・目標 | →推進 |
| | 実績（評価） | |
| 2018(H30)年度の取り組み | 予定・目標 | →推進 |
| | 実績（評価） | |

| | | |
|---|---|---|
| 2019(H31)年度の取り組み | 予定・目標 | →推進 |
| | 実績（評価） | |
| 備考 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 課題 | 平成29年3月に防災計画を改定しましたが、今後も上位計画の動向を注視する。<br>平成28年度に災害情報システムの本格稼動を始めたが、全庁的にシステムの習熟者を増やし、より円滑に災害時対応ができる体制をめざす。 | | |
| 今後の対応 | 各部のシステム研修実施や災害対策本部訓練に加え、事業部等へ平時から積極的にシステムを活用するよう呼びかけを行なっていく。 | | |
| 達成状況（実行計画） | ○：達成に向けて進行・継続中 | 達成状況（市長公約） | ○：達成に向けて進行・継続中 |

## 関連指標

| 指標名 | 施策指標 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 目標値(H31) | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 重要物資備蓄目標達成率 | ○ | 97.34 | 106.3 | 148.5 | | | | 100 | % |
| 指標の説明 | | 大阪府の重点物資備蓄方針に変更があり、平成28年度の指標よりこれを採用。<br>【備蓄目標(市分担)】：食糧84,261食　毛布(保温用資材)46,812<br>【備蓄数】：アルファ化米94,500食　毛布＋断熱シート86,492 | | | | | | | |
| 重要物資備蓄品の中で、特に重要であるアルファ化米と毛布についての備蓄目標達成率の平均 | | | | | | | | | |

| 指標名 | 施策指標 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 目標値(H31) | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 見直し・修正等の実施回数 | | 1 | 0 | 1 | | | | 1 | 回 |
| 指標の説明 | | 平成28年度、機構改革等にともなう見直しを行なった。 | | | | | | | |
| 各部署における業務継続計画（BCP）の見直しに関する照会をした回数 | | | | | | | | | |

| 指標名 | 施策指標 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 目標値(H31) | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 災害情報システム操作習得者 | | — | 86 | 179 | | | | 375 | 人 |
| 指標の説明 | | 平成28年度に災害対策本部事務局員と新任者（初心者）に対して災害情報システム操作研修を実施。93名が受講した。 | | | | | | | |
| 災害情報システム操作研修を受講した者の延べ人数 | | | | | | | | | |

| 指標名 | 施策指標 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 目標値(H31) | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | |
| 指標の説明 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

## 事業費（決算ベース）

単位：千円

| 年度 | 事業費総額 | 国庫支出 | 府支出金 | 起債 | 受益者負担 | その他 | 一般財源 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2016(H28)年度 | 21,063 | | | | | | 21,063 |
| 2017(H29)年度 | 0 | | | | | | |
| 2018(H30)年度 | 0 | | | | | | |
| 2019(H31)年度 | 0 | | | | | | |

**整備事業の場合の総事業費**　0 千円　（建設経費　0 千円　，用地費　0 千円　）